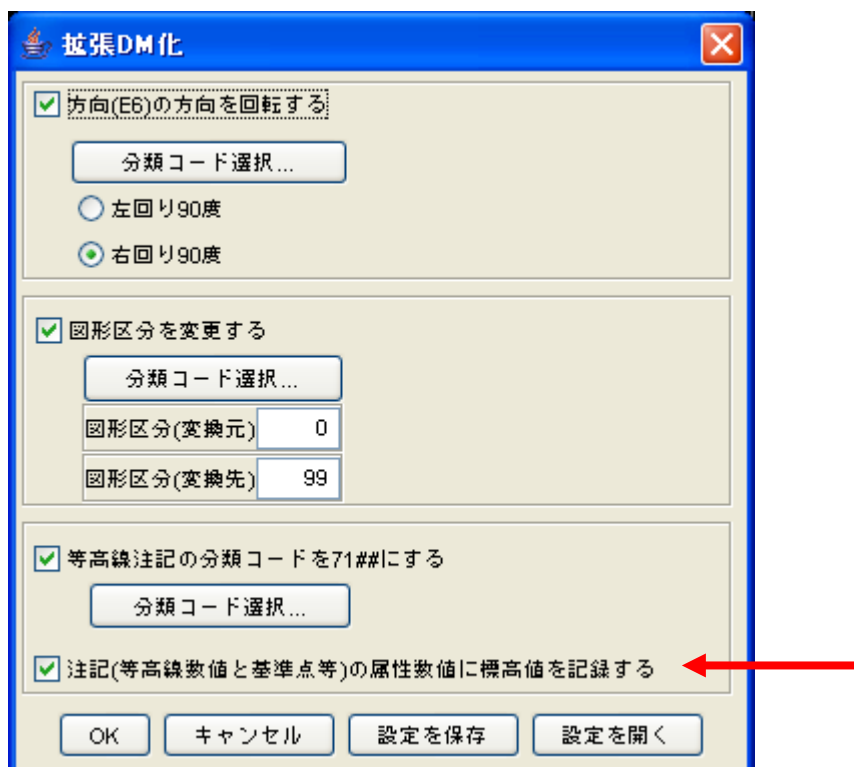


拡張 DM エディタ バージョン 2.30 更新記録

2009/09/16
有限会社ジオ・コーチ・システムズ
<http://www.geocoach.co.jp/>
info@geocoach.co.jp

1. 拡張DM化

メニュー[一括処理]-[拡張 DM 化]に注記の属性数値をセットするオプションを追加しました。



注記(等高線数値と基準点等)の属性数値に標高値を記録する

分類コードが等高線数値(7101 から 7108)と基準点等(7301 から 7309,7311,7312)の注記(E7)について、注記データが数値の場合、その値を標高値(メートル単位)として要素レコードの属性数値に mm 単位でセットします。属性数値を変更した注記のみを確認リストに表示します。上記「等高線注記の分類コードを 71##にする」の後に、この処理を行います。

(54) 注記の属性数値を変更 分類コード=7101 注記文字列[130] 属性数値[]->[130000] 1-10.dcm
(55) 注記の属性数値を変更 分類コード=7101 注記文字列[70] 属性数値[]->[70000] 1-10.dcm
(56) 注記の属性数値を変更 分類コード=7301 注記文字列[52.9] 属性数値[]->[52900] 1-10.dcm
(57) 注記の属性数値を変更 分類コード=7301 注記文字列[65.7] 属性数値[]->[65700] 1-10.dcm
(58) 注記の属性数値を変更 分類コード=7302 注記文字列[57.72] 属性数値[]->[57720] 1-10.dcm
(59) 注記の属性数値を変更 分類コード=7302 注記文字列[68.28] 属性数値[]->[68280] 1-10.dcm

ガイド レポート チェックリスト1 チェックリスト2 **確認リスト** 断面

2. 要素リストアップ

メニュー[ツール]-[要素リストアップ]に要素識別番号の指定を追加しました。

要素リストアップ

データタイプ

E1面 E2線 E3円 E4円弧
 E5点 E6方向 E7注記 E8属性

分類コード

すべての分類コード
 分類コードを選択(1)
 分類コードを選択(2)
 分類コードを選択(3)

2次元、3次元

2次元と3次元すべて
 3次元
 3次元で標高値が全て0.0
 3次元で標高値が-999より高い
 3次元で標高値が-999より高く0.0より低い
 3次元で標高値が-999より高く、全て同じ
 3次元で標高値が-999より高く、一部異なる
 3次元で標高値が-999以下
 2次元

図形区分

すべての図形区分
 非区分(0)
 射影部の上端(11)
 射影部の下端(12)
 表現補助データ(99)
 表現補助データ(99)以外
 0,11,12,99以外
 定義以外

間断区分

すべての間断区分
 間断区分=0
 間断区分=1
 間断区分=2~9

面(E1),線(E2)の点数

点数は問わない
 2点
 3点以上

面(E1),線(E2)の長さ・面積

長さは問わない
 長さを指定(2D)
 長さを指定(3D)
長さの最小値 m
長さの最大値 m
 面積は問わない
 面積を指定(2D)
面積 m²未満

その他の条件

注記の数値の小数点以下桁数が1
 消去年月が空白か0以外
 要素識別番号 ←

処理

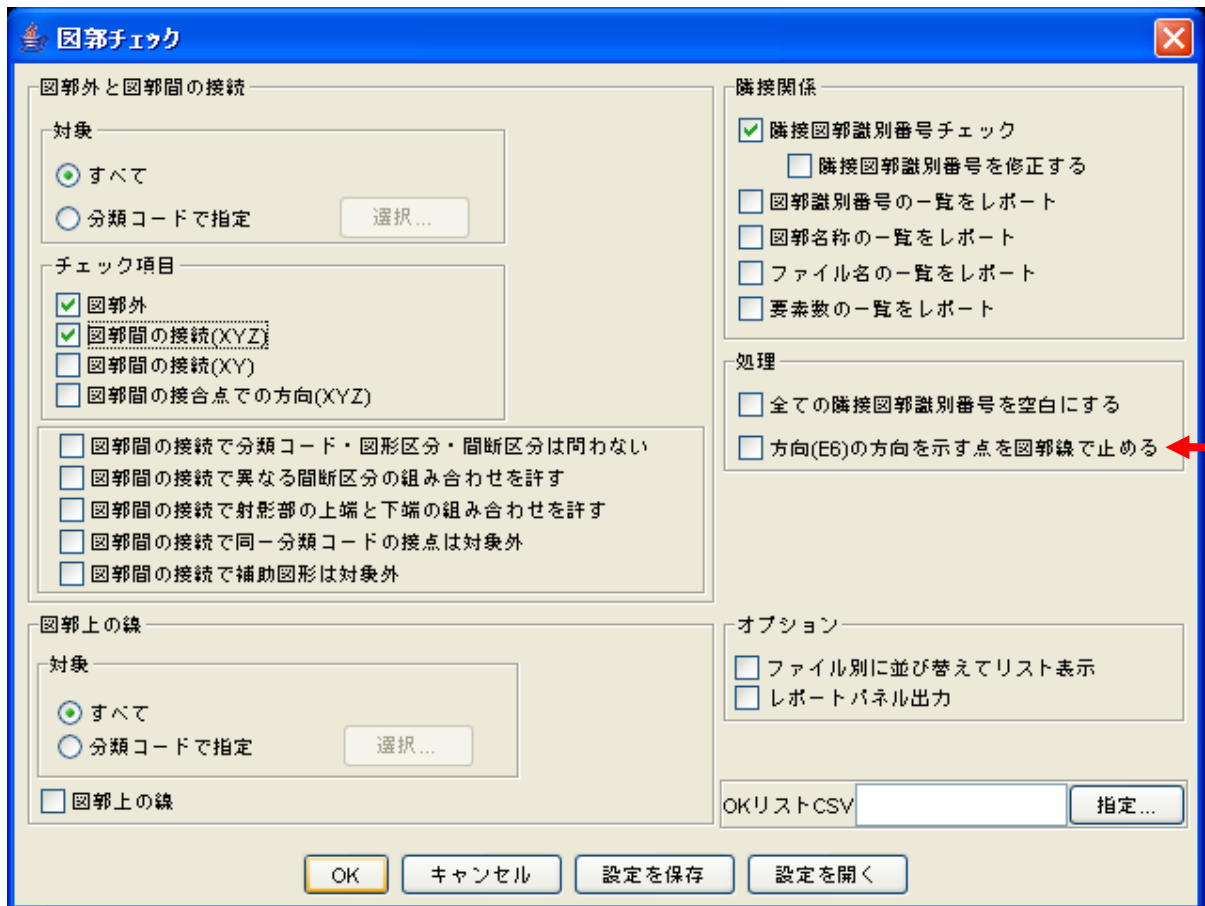
リストアップ(順次)
 リストアップ(長い方から)
 該当要素を削除する
 分類コードを変更する

 間断区分を0にする
 間断区分を1にする
 図形区分を表現補助データ(99)にする
 面(E1)を線(E2)にする
 点(E5)を方向(E6)にする
 方向(E6)を点(E5)にする
 円(E3)を点(E5)にする
 点列の順序を反転する
 標高値を10分の1にする
 レポートパネル出力

【要素識別番号】 指定された要素識別番号の要素のみを対象とします。要素識別番号反復回数は関与しません。

3. 図郭チェック

[チェック]-[図郭チェック]の「図郭外」で、方向(E6)の方向を示す点が図郭外に出ている場合も検出するようにしました。また、その場合、方向を示す点を図郭線上に移動するオプションも追加しました。



【方向(E6)の方向を示す点を図郭線で止める】[図郭外]のチェックの際に有効です。方向(E6)の座標が図郭内にあり、方向を示す点が図郭外に出ている場合、方向の角度をできるだけ変えないようにして方向を示す点を図郭線上に移動します。

